

都市再生整備計画(第2回変更)

あなみずちゅうおうちく
穴水中央地区

石川県 あなみずまち
穴水町

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	石川県	市町村名	穴水町	地区名	穴水中央地区	面積	61.5 ha
-------	-----	------	-----	-----	--------	----	---------

計画期間	令和 5 年度 ~ 令和 10 年度	交付期間	令和 5 年度 ~ 令和 10 年度
------	--------------------	------	--------------------

目標
大目標:進展する少子高齢化社会に対応しつつ、震災からの復興を促進し、穴水まちなかに安心して住み続けられる環境の向上
目標1:少子高齢化社会にも対応したまちなか暮らしを支える交流の場を創出する **目標2:**まちなかへの来訪者を受け入れる賑わいの場を再生する
目標3:中心市街地の震災からの早期復興を促進する

目標設定の根拠
 都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)
 本町の中心として発展してきた穴水駅周辺の市街地において、人口減少や低未利用地及び空き家、空き店舗の顕在化を踏まえ、中心市街地としての活性化を総合的に推進し、都市機能のさらなる集積を進めながら、高齢者等に優しく、若い世代に魅力的な生活環境の確保とともに、公共交通の利便性の向上と利用促進を図りながら、都市機能の適正な配置により、元気に、快適・安心に、便利に暮らし続けられる生活環境を維持・確保していく。更に、計画期間中に発生した能登半島地震に対し、中心市街地の震災からの早期復興を促進する。
 まちづくりの方針として「魅力と賑わいのある、安全安心の都市空間の形成」「早期の市街地復興の促進」を掲げ、穴水駅周辺への集約的・効果的都市機能配置と、公共交通による集落地等との連携によるコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを基本に、全町民の総合的な生活環境の向上を目指すとともに、主に移住・定住促進を目的とした効果的な施策の展開を図る。まちづくりの方針を実現に向けた課題解決の誘導方針として、魅力とにぎわいのある「中心市街地」への移住・定住の促進、自然災害への対応や町民の命を守る安全安心な都市空間の形成、公共交通の利便性向上による車に依存しないまちづくりの3つの方針を定めている。

まちづくりの経緯及び現況
 本町は、のと里山海道を通じて金沢から約90kmに位置する奥能登地域の玄関口にあたり、古くから奥能登地方の陸路・水路の要衝であった。中心市街地は中世城下町として形成され、その後は周辺地域の中心を成し発展してきた。中心市街地は主要地方道七尾輪島線に沿って形成される穴水商店街とその周縁部の一般住宅地から構成されており、中心市街地を縫うように真名井川が流れ、街なかには豊富な水辺空間を有している。
 平成19年3月25日に能登半島を震源とする地震が発生し、本町においても震度6強を観測して古くから中心市街地を形成する当該地区を中心に全壊住家72戸を含む壊滅的な打撃を被ったが、復興まちづくり計画のもと、官民が丸となって地域の生活基盤の復興を最優先に取り組み、商店街通りを中心とした街なみ環境整備事業や無電柱化事業、穴水駅前での「さわやか交流館ブルー」整備、穴水駅前広場の再整備にあわせて穴水駅と一体となった道の駅「あなみず」の整備をはじめ、中心市街地の活力向上に向けた事業を展開してきた。
 しかしながら、全国的な潮流でもある少子高齢化の進展に歯止めをかけるまでには至っておらず、昭和60年に13,565人であった人口は令和2年には7,890人まで大きく減少し、老年人口割合は17.4%から49.5%まで増加する一方で、年少人口割合は19.2%から7.1%まで低下し、急激な人口減少、少子高齢化社会の進展に対応しつつ、将来にわたって持続可能な都市経営を見据えたまちづくりが急務となっている。こうした中、2024年1月に発生した能登半島地震は、本町でも震度6強を観測し、町政史上最も甚大な被害をもたらした。特に、家屋の被害は、中心市街地が約7割を占める他、インフラの被害や土砂災害の住宅被害も中心市街地周辺に集中しており、町中心部の復旧・復興の遅れによる町全体の空洞化が懸念される状況である。

課題
【地域交流の促進】少子高齢化や核家族化の進行など社会構造の変化や、個人、世代間の価値観の多様化を背景に、地域住民の絆や助け合い、支え合いなど地域における連帯感が希薄になりつつあることを踏まえ、住民間の交流、活動を促進していく必要がある。
【まちなかの賑わい再生】コロナ禍の影響、更に震災の影響で低迷するまちなかに活力を呼び戻し、賑わいを再生していく必要がある。
【復興と連携した市街地再生】震災復興と併せた効率的で持続可能な都市機能の「集約と連携」を図り、早期の市街地復興・再生が必要である。

将来ビジョン(中長期)
【第2期穴水町まち・ひと・しごと創生総合戦略】(令和2年3月策定) 基本目標として「誰もが活躍できる安定した雇用を創出する」「魅力を発信し新しいひとの流れをつくる」「若い世代が定着し結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「いつまでも元気に住み続けられる」の4つを定めている。
【穴水都市計画マスタープラン】(令和2年10月策定) 里山里海と共生する、元気・ふれあい・安らぎのあるまち 魅力にあふれ町民だれもが満足する～あなみず暮らし～を将来都市像とし、用途地域指定エリアのうち、穴水駅から川島地区にかけての中心商業業務地、その他住居系既成市街地を「穴水生活・にぎわい拠点」として位置づけ、既存都市機能の充実とともに、必要な生活利便施設等の誘導配置、多様な交流促進等による、集約型の市街地環境の確保、快適な暮らしの場の形成を図るとしている。
【穴水町復興計画】(令和6年12月策定)「みんなで創ろう未来のあなみず」を合言葉に、復興の将来像として「住民参加でつくるまち」「暮らしが持てるまち」を掲げ、その実現に向けて4つのシンボルプロジェクトからなる施策に取組む。その内「奥能登の玄関口再生プロジェクト」は中心市街地を対象としたもので、穴水駅周辺の再生、公共交通機関の新たな交通手段の整備、住まいや流通拠点の再整備の3つの柱を挙げている。

都市構造再編集中支援事業の計画
都市機能配置の考え方
 ・目指すべき都市の骨格構造として本町の都市構造上の中心となる「中心商業業務地」及びそれを補完しながら地域住民等の生活の拠点となる「穴水生活・にぎわい拠点」とともに、町内及び広域・近隣都市間を連絡する交通網を、「連携・ネットワーク軸」として位置づけている。
 ・本町及び能登地域への玄関口となっている穴水駅を中心とした穴水駅周辺市街地は、駅の有する交通機能はもとより、隣接する物産館「四季彩々」、駅前に立地する「さわやか交流館ブルー」、大町地区の商業空間など、町民の生活に密着しながら、多様な交流の場として機能しており、活気・交流を創出する本町の中心商業地区として位置づける。
 ・用途地域指定エリアのうち、穴水駅から川島地区にかけての中心商業業務地、その他住居系既成市街地を「穴水生活・にぎわい拠点」として位置づけ、中心商業業務地へのアクセシビリティや既存都市機能の集積立地を活かした生活利便性の高い暮らしの場として、一定程度の人口密度の維持を図る。
 ・穴水駅周辺整備などの震災復興と併せて、効率的で持続可能な都市機能の「集約と連携」を図り、早期の市街地復興・再生を推進する。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
支援制度の活用による移住者数	人/年	移住支援制度を活用して穴水町に移住してきた方の年間数	まちなか暮らしを支える交流の場を創出することで、穴水町への移住者を増加させる。(目標1に対応)	23	R3	27	R10
居住継続意識	%	地区住民の居住継続意識として「今のところにずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」との回答者割合	まちなか暮らしを支える交流の場を創出することで、穴水町での居住継続意識を高める。(目標1に対応)	76.0	H30	80.0	R10
まちなか歩行者数	人/12h	穴水町商工会前の(主)七尾輪島線を往来する自転車歩行者数(休日12時間)	まちなかへ来訪者を受け入れるにぎわいの場を再生することで、まちなかを往来する自転車、歩行者の増加を図る。(目標2に対応)	92	R4	140	R10
町内での事業の再開意欲	%	個人事業主が多い「農林水産業」と「自営業」の方への町内での事業の再開意欲として「すでに再開した」との回答者割合	中心市街地の震災から早期の市街地復興を図ることで、個人事業主の事業再開の促進を図る。(目標3に対応)	60.8	R6	80.0	R10

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【少子高齢化社会にも対応したまちなか暮らしを支える交流の場を創出する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの未利用地を活用した民間の高齢者福祉施設整備と一体となり、住民の交流・活動スペースを備えた住民交流施設を整備する。 ・住民交流施設整備にあわせて、隣接する大町西児童公園の再整備を行う。 ・真名井川に沿って散策できる遊歩道の整備を行う。 ・西川島児童公園内にバリアフリー対応の公衆トイレを整備する。 ・生徒、児童の交流向上に向け、令和6年能登半島地震にて被災した穴水小学校等施設を穴水中学校隣接に移転する。 ・生徒、児童並びに町民の利用向上に向け、町立図書館を穴水小学校隣接に移転する。 ・通学児童、生徒の安全性向上に向けて、学校や公園周辺に防犯カメラを設置する。 ・まちなかへの来訪者を受け入れる賑わいの場の再生に向けて、駅前広場等整備計画検討調査を行う。 ・整備される住民交流施設内において、地域交流を育むイベントの実証実験を行う。 ・まちなかでの地域住民の移動の利便性向上に向けて市街地循環バスの運行実験を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 住民交流施設整備(高次都市施設:地域交流センター) ⇒ 大町西児童公園再整備(公園) ⇒ 真名井川遊歩道整備(高質空間形成施設) ⇒ バリアフリー対応公衆トイレ整備(高質空間形成施設) ⇒ 穴水小学校等施設整備(誘導施設(教育文化施設)) ⇒ 町立図書館等施設整備(誘導施設(教育文化施設)) ⇒ 防犯カメラ設置(地域創造支援事業) ⇒ 駅前広場等整備計画検討調査(事業活用調査) ⇒ 地域交流イベント社会実験(まちづくり活動推進事業) ⇒ 市街地循環バス実証運行事業(まちづくり活動推進事業)
<p>【まちなかへの来訪者を受け入れる賑わいの場を再生する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真名井川沿い(天文学者パーシヴァル・ローウェル上陸の地)に広場を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ (仮称)ローエル広場整備(地域生活基盤施設)
<p>【中心市街地の震災からの早期復興を促進する】</p> <p>2024年1月に発生した能登半島地震は、家屋の被害は中心市街地が約7割を占める他、町中心部の復旧・復興の遅れによる町全体の空洞化が懸念される状況であるため、復興を促進し、まちなかの都市機能を集約させ、持続可能で強靱な都市構造への再編を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 復興に向けた都市機能再編計画検討調査
<p>その他</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

様式(1)-④-1

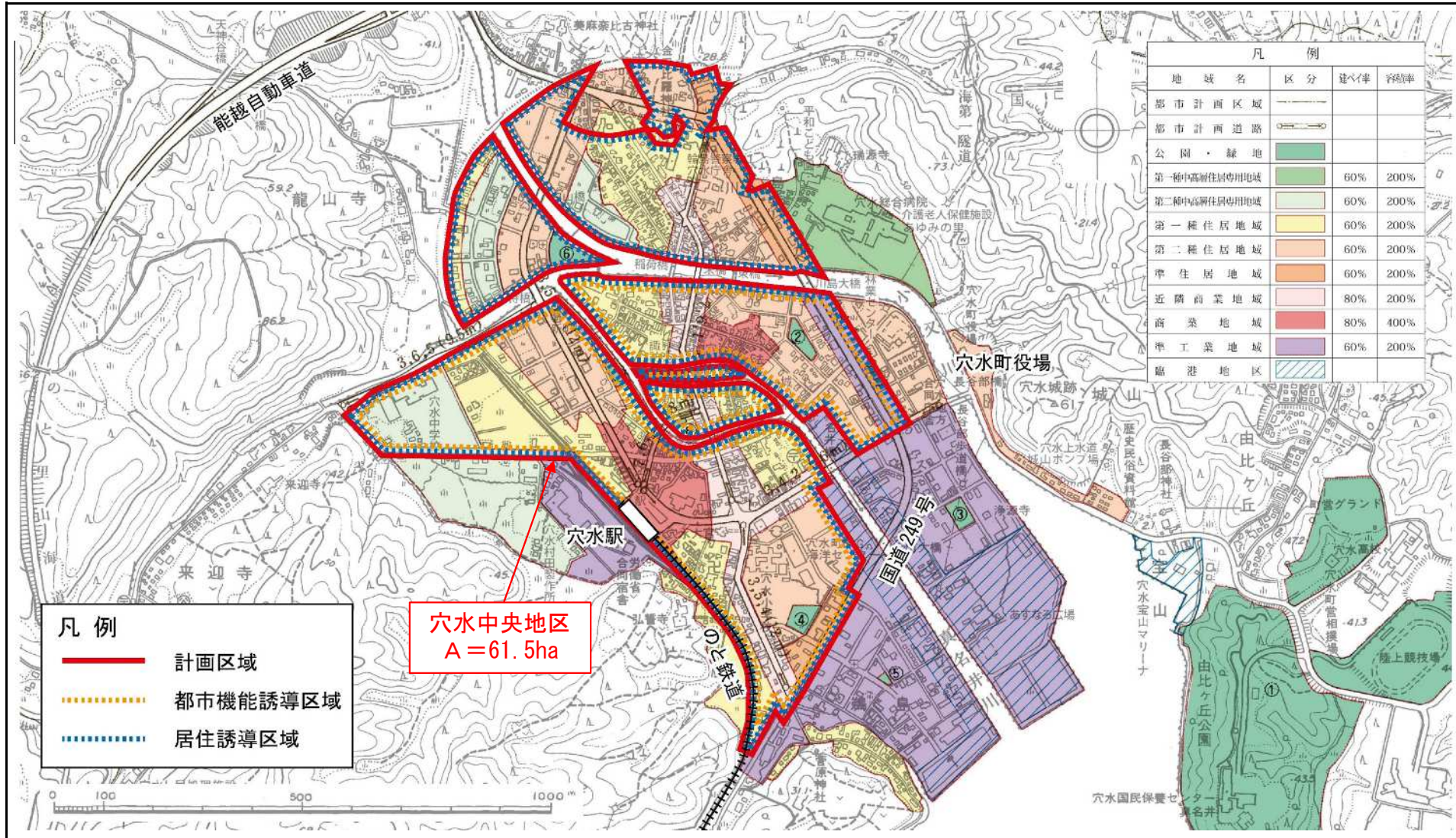
交付対象事業費	2,963.0	交付限度額	1,479.4	国費率	0.499
---------	---------	-------	---------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路															
公園		大町西児童公園再整備	穴水町	直	A=0.16ha	R5	R9	R5	R9	42.0	42.0	42.0	0.0	42.0	-
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		(仮称)ローエル広場整備	穴水町	直	A=1,900㎡	R8	R9	R8	R9	171.0	171.0	171.0	0.0	171.0	-
高質空間形成施設		真名井川遊歩道整備	穴水町	直	L=350m	R9	R9	R9	R9	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	-
		バリアフリー対応公衆トイレ整備	穴水町	直	1箇所	R5	R5	R5	R5	30.0	30.0	30.0	0.0	30.0	-
高次都市施設		住民交流施設整備	社会福祉法人牧平福祉会	間	A=0.37ha	R4	R7	R5	R7	1,061.0	259.5	173.0	86.5	173.0	-
		観光交流センター													
		テレワーク拠点施設													
		子育て世代活動支援センター													
		複合交通センター													
誘導施設		医療施設													
		社会福祉施設													
		教育文化施設	穴水小学校等施設整備	穴水町	直	A=35,000㎡	R8	R10	R8	R10	2,905.0	2,905.0	2,905.0	0.0	2,100.0
			町立図書館等施設整備	穴水町	直	A=450㎡	R8	R10	R8	R10	384.0	384.0	384.0	0.0	384.0
			子育て支援施設												
			元地の管理の適正化												
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
合計										4,613.0	3,811.5	3,725.0	86.5	2,920.0	-

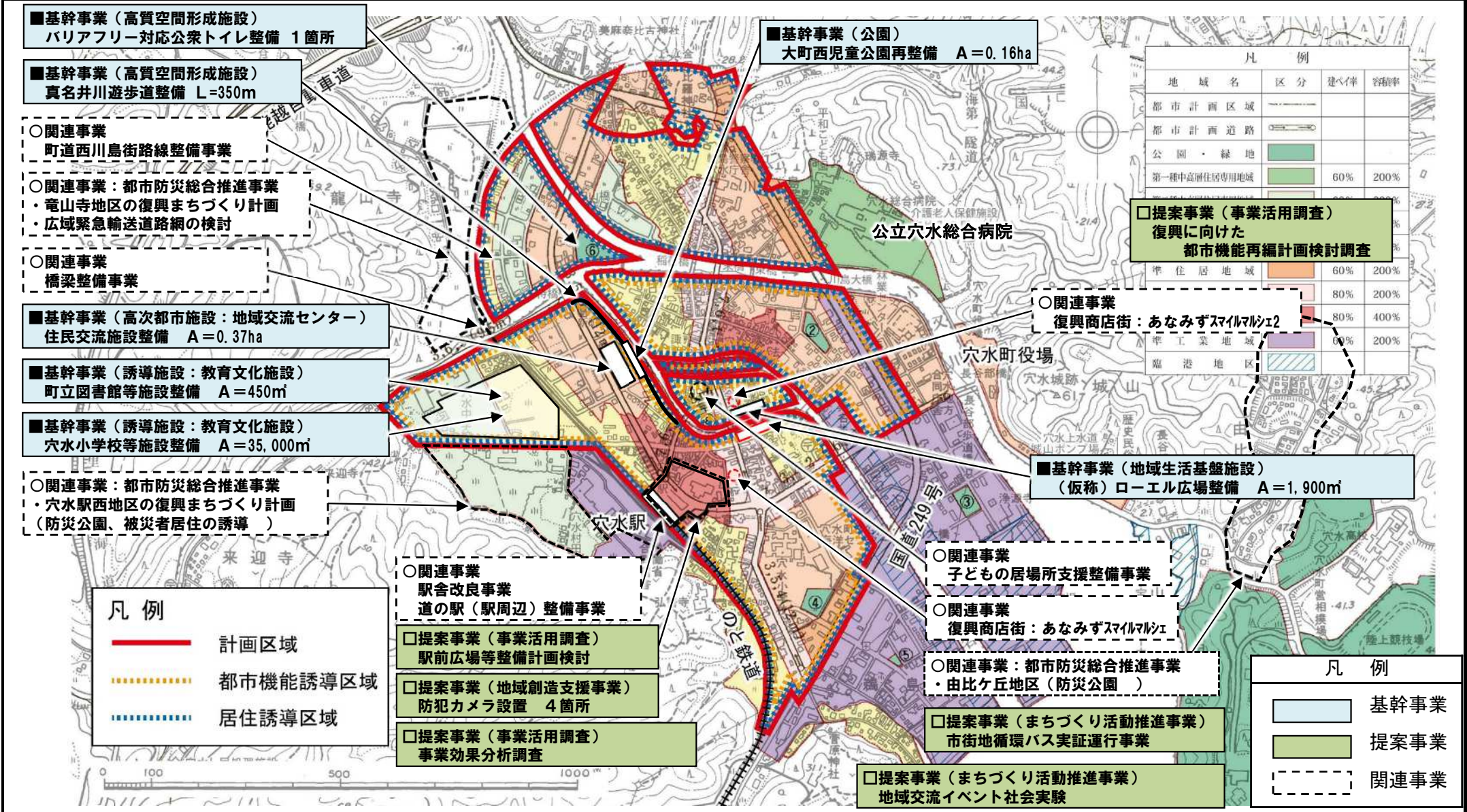
事業	細目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業		学校、公園周辺	穴水町	直	4箇所	R9	R10	R9	R10	2.0	2.0	2.0	0.0	2.0
事業活用調査		-	穴水町	直	-	R10	R10	R10	R10	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0
		中心市街地	穴水町	直	-	R7	R8	R7	R8	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0
		駅前広場等	穴水町	直	-	R8	R8	R8	R8	6.0	6.0	6.0	0.0	6.0
まちづくり活動推進事業		地域交流イベント社会実験	社会福祉法人牧平福祉会	間	1回/年	R9	R10	R9	R10	3.0	3.0	2.0	1.0	2.0
		市街地循環バス実証運行事業	市街地内	直	-	R9	R10	R9	R10	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0
合計										44.0	44.0	43.0	1.0	43.0

穴水中央地区(石川県穴水町)	面積	61.5 ha	区域	穴水町大町、川島の一部
----------------	----	---------	----	-------------



穴水中央地区(石川県穴水町) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標:進展する少子高齢化社会に対応しつつ、震災からの復興を促進し、穴水まちなかに安心して住み続けられる環境の向上	代表的な指標	支援制度の活用による移住者数 (人/年)	23 (R3年度)	→	27 (R10年度)
	目標1:少子高齢化社会にも対応したまちなか暮らしを支える交流の場を創出する		居住継続意識 (%)	76.0 (H30年度)	→	80.0 (R10年度)
	目標2:まちなかへの来訪者を受け入れる賑わいの場を再生する		まちなか歩行者数 (人/12h)	92 (R4年度)	→	140 (R10年度)
	目標3:中心市街地の震災からの早期復興を促進する		町内での事業の再開意欲 (%)	60.8 (R6年度)	→	80.0 (R10年度)



■基幹事業(高質空間形成施設)
バリアフリー対応公衆トイレ整備 1箇所

■基幹事業(高質空間形成施設)
真名井川遊歩道整備 L=350m

- 関連事業
町道西川島街路線整備事業
- 関連事業:都市防災総合推進事業
・竜山寺地区の復興まちづくり計画
・広域緊急輸送道路網の検討
- 関連事業
橋梁整備事業

■基幹事業(高次都市施設:地域交流センター)
住民交流施設整備 A=0.37ha

■基幹事業(誘導施設:教育文化施設)
町立図書館等施設整備 A=450m²

■基幹事業(誘導施設:教育文化施設)
穴水小学校等施設整備 A=35,000m²

- 関連事業:都市防災総合推進事業
・穴水駅西地区の復興まちづくり計画
(防災公園、被災者居住の誘導)

■基幹事業(公園)
大町西児童公園再整備 A=0.16ha

□提案事業(事業活用調査)
復興に向けた
都市機能再編計画検討調査

○関連事業
復興商店街:あなみずスマイル街2

■基幹事業(地域生活基盤施設)
(仮称)ローエル広場整備 A=1,900m²

○関連事業
子どもの居場所支援整備事業

○関連事業
復興商店街:あなみずスマイル街

○関連事業:都市防災総合推進事業
・由比ヶ丘地区(防災公園)

□提案事業(まちづくり活動推進事業)
市街地循環バス実証運行事業

□提案事業(まちづくり活動推進事業)
地域交流イベント社会実験

地域名	区分	建ぺ率	容積率
都市計画区域			
都市計画道路			
公園・緑地			
第一種中高層住居専用地域		60%	200%
準住居地域		60%	200%
工業地域		80%	200%
臨港地区		80%	400%
		60%	200%

—	計画区域
—	都市機能誘導区域
—	居住誘導区域

- 関連事業
駅舎改良事業
道の駅(駅周辺)整備事業
- 提案事業(事業活用調査)
駅前広場等整備計画検討
- 提案事業(地域創造支援事業)
防犯カメラ設置 4箇所
- 提案事業(事業活用調査)
事業効果分析調査

■	基幹事業
□	提案事業
- - -	関連事業